

'97／年報

平成 9 年度

No. 5

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



はじめに

わたしどもの考古資料館も5年目を経過いたしました。5年を一つのくぎりにすれば、順調に運営し全国より多くの方々を迎えて、いささかでも東北の文化や縄文文化の再発見に寄与できたのは、多くの方々のご支援とご指導の賜であり厚く感謝申し上げます。

この5年間に、3回の特別展と6回の企画展を催し、各種の体験教室、まほろば縄文まつり、考古学入門講座、公開の講演会なども開催し、考古に学び考古に遊ぶをモットーとする「うきたむ考古の会」も結成され、地域にねざした活動を展開してまいりました。いつも顔をみせる常連の方も次第に層が厚くなっています。多分来年度においては、開館以来の入館者は、50,000人を越えることはほぼ確かであります。

5年を経過した機会に、常設展示部門も新たな資料を加えて一層の充実をはかる所存であります。また、来年度より町によって建設された「創造の館」がオープンし、体験教室は、一層充実することが期待されます。本館周辺の「まほろば古の里歴史公園」も昨年2棟の縄文時代堅穴復元住居が完成し、安久津2号墳も整備され、文字どおり風土記の丘にふさわしい環境が作りだされました。

生涯学習の上でわたしどものような施設が果たす役割は益々重要になってきました。それとともにおおらかな古代に夢をさせ、ゆったりくつろぐ憩いの場として新たな活力をうみだす源泉となることも必要であります。6年目を迎えて館員一同新たな挑戦を開始し、より地域に密着した活力あふれる資料館づくりに邁進する所存であります。なにとぞ忌憚のないご意見ご助言をお寄せいただきたくよろしくお願い申し上げます。

1998年3月

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

館長 川崎利夫

目 次

1. 施設の概要	1
2. 開館後のあゆみ	3
3. 展示の概要	
(1) テーマ展	5
(2) 第6回企画展	6
4. 教育普及活動	
(1) 特別講演会	7
(2) 体験教室	7
(3) 遺跡めぐり	8
(4) まほろば縄文まつり	8
(5) 考古学入門講座	9
(6) その他の教育普及事業	10
(7) うきたむ考古の会	11
5. 資料の収集・保管	12
6. 資料の活用	
・館内利用の状況	15
・刊行物一覧	15
7. 入館状況	
・月別入館者一覧表	16
・主な入館団体一覧	17
・来観者アンケート	18
8. 管理及び運営	
(1) 今年度の職員・組織	20
(2) 運営協議会	21
9. 歴史公園整備事業	22
10. 受贈資料・図書・書籍	24
11. 日誌抄	29
12. 利用案内	30

1. 施設概要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿革

昭和51年度	第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和56年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和58年度	風土記の丘基本計画懇談会において、基本計画等について検討
昭和59年度	風土記の丘建設構想推進委員会において、中核地区の選定等について検討
昭和60年度	第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和61年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
昭和62～63年度	中核施設となる考古資料館の展示構想をたてるため、考古資料基礎調査を実施
平成元年度	風土記の丘基本計画作成検討委員会を設置し、基本計画を作成
平成2年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成3年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成4年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成5年度	考古資料館開館 4月23日

(3) 施設

①構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建 敷地面積：7,000㎡ 延床面積：1,358.24㎡.

常設展示室	279.00㎡	作業室	33.75㎡
企画展示室	129.37㎡	荷解室	18.00㎡
収蔵庫(2層)	129.37㎡	ロビー・ホール	336.85㎡
研修室	67.50㎡	ビデオコーナー	33.25㎡
資料室	58.20㎡	風除室	19.25㎡
事務室	67.50㎡	その他(機械室等)	186.20㎡

(4) 建設費

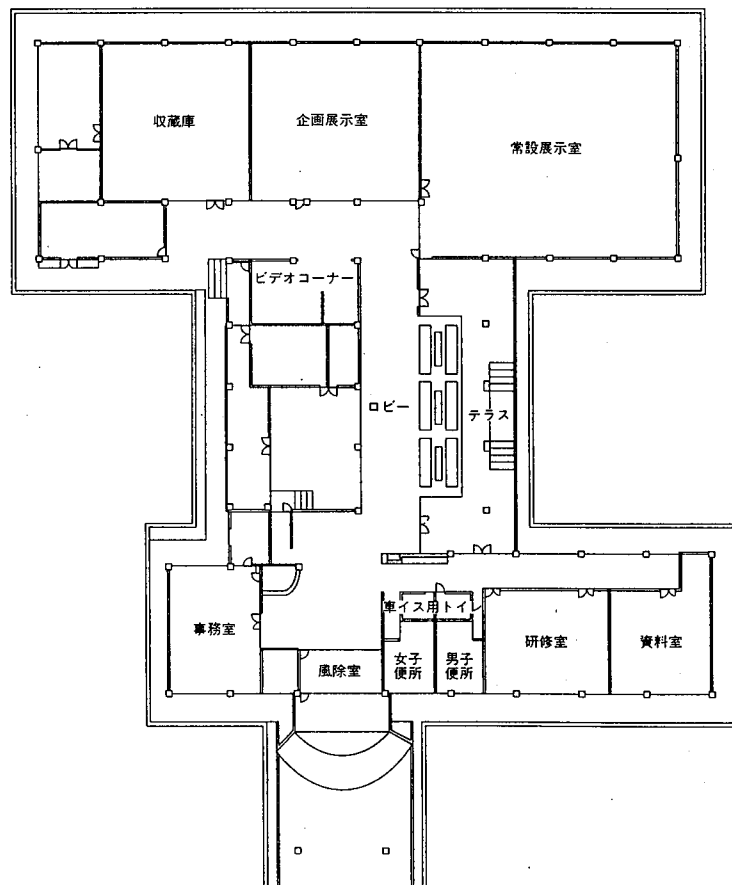
総額 618百万円

(内訳) 建物本体工事費	413百万円
展示工事費	118 〳
外構整備費	38 〳
備品購入費	9 〳
調査、設計監理委託料	37 〳
事務費	3 〳

(5) 工事業者

建築設計	株式会社平吹武建築設計事務所
建築施工	株式会社中村建設
設備施工	協栄設備工業株式会社
電気施工	千代田電工株式会社
植栽施工	今井造園株式会社
展示設計施工	株式会社丹青社

[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]



2. 開館後のあゆみ

- 平成5年度** 開館記念行事（4月20日）
 開館記念講演 「考古資料館に期待すること」（4月20日）
 文化庁文化財監査官 田中 琢氏
 第1回特別展 「縄文の四季」（4月23日～8月22日）
 シンポジウム 「祈りとたたかいの中世」開催（7月10日）
 第1回収蔵品展 「押出遺跡とその周辺」（9月1日～26日）
 縄文土器づくり教室（9月12日・10月3日）
 縄文月見の宴（9月30日）
 第1回企画展 「古墳と人々の暮らし」（10月1日～11月30日）
 特別講演会 「末期古墳がつけられたころ」
 福島大学教授 工藤 雅樹氏（10月9日）
 第2回収蔵品展 「最近発掘された置賜の遺跡から」（12月7日～4月26日）
 平成5年度入館者 15,379名
- 平成6年度** 第2回企画展 「一ノ坂遺跡と巨大住居」（5月1日～7月30日）
 縄文土器づくり教室（7月3日・7月31日）
 特別講演会 「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」
 秋田県埋蔵文化財センター所長 富樫 泰時氏
 第3回収蔵品展 「平地と山地の縄文遺跡」（8月4日～9月25日）
 第1期やさしい考古学入門講座
 1回 「考古学とは」 県立考古資料館長 川崎 利夫氏
 2回 「旧石器時代と生活」 (財)県埋文センター研究課長 佐々木洋治氏
 3回 「縄文時代の人々と文化」 日本考古学協会会員 佐藤 鎮雄氏
 4回 「縄文時代のムラと生活」 (財)県埋文センター研究調査員 佐藤 庄一氏
 5回 体験実習(縄文琴の作り) 米沢市教育委員会 手塚 孝氏
 6回 「弥生時代の生活と社会」 (財)県埋文センター研究調査員 佐藤 庄一氏
 7回 「古墳とその時代」 県立考古資料館長 川崎 利夫氏
 8回 体験学習(秋の縄文料理) 米沢市教育委員会 手塚 孝氏
 9回 「考古学が語る蝦夷の時代」 日本考古学協会会員 佐藤 鎮雄氏
 10回 「一つの経筒から中世が広がって見える」
 高島町郷土資料館長 山崎 正氏
 縄文月見の宴（9月20日）
 第3回企画展 「発掘された中世—まじないと祈りの世界—」
 （10月1日～11月30日）
 特別講演会 「中尊寺金色堂の視線」（10月15日）
 東北大学教授 入間田 宣夫氏
 第4回収蔵品展 「古代の村と暮らし」（12月6日～4月23日）
 縄文手作り教室(勾玉・けつ状耳飾り)(3月11日)
 平成6年度入館者 7,696名
- 平成7年度** 開館3周年記念特別展 「よみがえる縄文文化」（4月27日～7月30日）
 特別講演会 「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」（6月10日）
 青森県教育庁文化課三内丸山対策室 岡田 康博氏
 縄文住居作り教室（住居・勾玉・投げやり）（6月18日）
 土器作り教室（7月8日・8月6日）
 第5回収蔵品展 「高島の古墳時代」（8月4日～9月27日）
 第2期やさしい考古学入門講座 「日本のやきものの流れ」
 1回 「日本のやきものの流れ」 県立考古資料館長 川崎 利夫氏
 2回 「縄文草創期・早期」 (財)県埋文センター研究課長 佐々木洋治氏

3回「縄文前期・中期」	(財)県埋文センター研究調査員	阿部	明彦氏
4回「縄文後期・晩期」	日本考古学協会会員	佐藤	鎮雄氏
5回「弥生土器」	(財)県埋文センター第二調査課長	佐藤	庄一氏
6回 実習(味噌根窯跡の発掘)	米沢市教文化財主任	手塚	孝氏
7回「古墳時代の土器」	県文化財課文化財係長	長橋	至氏
8回「古代の土器」	(財)県埋文センター研究調査員	尾形	與典氏
9回「中世の焼き物」	県立考古資料館長	川崎	利夫氏
10回「近世山形のやきもの」	山形民芸協会理事長	板垣	英夫氏

うきたむ考古の会設立(9月2日) 39名

縄文月見の宴(共催)会場 山形市霞城公園(9月9日)

第4回企画展「やまがた古代の役所」(10月1日～11月30日)

味噌根窯跡の発掘調査(10月22日～12月上旬)

特別講演会「古代出羽の役所」

酒田市教育委員会生涯学習課長 小野 忍氏

東北中世考古学会 設立総会(11月25日)

第6回収蔵品展「置賜のやきものの移りかわり」(12月6日～4月21日)

縄文住居の模型作り教室(2月25日)

平成7年度入館者 7,957名

平成8年度

第5回企画展「古代の窯業遺跡」(4月27日～7月31日)

風土記の丘写生大会(5月4・5日)

春の遺跡巡り(川西町方面)(5月12日)

青森山内丸山遺跡見学研修旅行(考古の会)(6月1～2日)

特別講演会「古代の窯業遺跡」(6月8日)

国立歴史民俗博物館教授 吉岡 康鴨氏

縄文土面・土笛作り教室(6月16日・7月21日)

第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」

1回「旧石器時代の遺跡を掘る」 県文化財課文化財主査 渋谷 孝雄氏

2回「縄文草創期の洞窟遺跡を掘る」(財)県埋文センター研究課長 佐々木洋治氏

3回「縄文時代の大集落を掘る」(財)県埋文センター研究調査員 阿部 明彦氏

4回「弥生時代の遺跡を掘る」(財)県埋文センター第二調査課長 佐藤 庄一氏

5回実習 遺跡発掘現場(米沢) 米沢市教文化財主任 手塚 孝氏

6回「古墳を掘る1」 高島町文化財係長 井田 秀和氏

7回「古墳を掘る2」 県文化財課文化財係長 長橋 至氏

8回「古代の窯跡を掘る」 県文化財課文化財主査 名和 達朗氏

9回「古代のムラを掘る」 (財)県埋文センター研究調査員 阿部 明彦氏

10回「戦国時代の城跡を掘る」鶴岡市教委社会教育課文化財係主事 真壁 建氏

土器作り教室(7月14日・8月31日)

第7回収蔵品展「縄文の四季」(8月6日～9月25日)

夏休み自由研究相談(8月8～9日)

夏休み親子遺跡探検(8月4日)

東北中世考古学会(8月24～25日)

第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」(10月1日～11月30日)

味噌根窯跡発掘と芋煮会(10月5日)

特別講演会「縄文文化と現代」(10月10日)

国立歴史民俗博物館副館長 佐原 真氏

縄文月見の宴(10月20日)

秋の遺跡巡り(南陽市方面)(11月17日)

第8回収蔵品展「土器のうつりかわり」(12月5日～4月23日)

古代の編み物作り教室(2月22～23日)

平成8年度入館者 8,242名

3. 展示の概要

(1) テーマ展 「考古資料からみた古代・中世」

これまで春期と秋期2回にわたって企画展と特別展を開催し、その期間以外は「収蔵品展」を催してきた。今年度より、企画展などは年に1回2ヶ月程の期間開催することにして、企画展の一層の充実を期することにした。それ以外の期間は、「古代・中世の考古資料」展示を半ば常設化して開催することになった。

常設展示室においては、縄文時代草創期から前期押出遺跡の資料、縄文時代後半の資料、弥生時代から古墳出土の各種遺物を時代の流れにそって展示する。企画展示室では、企画展や特別展の開催時を除いて、古代前期(古墳時代)から近世までの考古資料を「生活」「生産」「役所」「権力」「信仰」「文化」などの視点から展示することにした。これまで考古学の資料といえればせいぜい古墳時代までという認識を改めて、新しい東北の古代・中世像を描くための素材を提供することをねらいとする。展示資料については固定化せず、随時新たな展示物に変えていきたいと考えている。

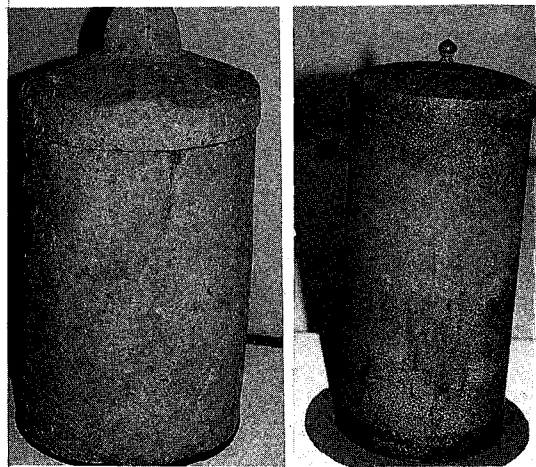
とりあえず今年度は、6～7世紀の高島町寝鹿・南原集落跡出土遺物の中から日常生活に使われた食器や壺・甕・甑などの古代のうつわを中心とした一部、7～8世紀の律令体制が成立する時期の窯跡資料や横穴式古墳出土の土器類や官衙に関連する瓦や陶硯などが二部、三部は中世の信仰資料である骨蔵器・経塚・板碑関係資料、中世の陶磁器片、近世窯業の開始を示す米沢戸長里窯の製品などで、主として三部構成によって展示を試みている。

今年度前半は、米沢・川西・長井・白鷹などの各教育委員会より資料を借り受けて展示を行ったが、後半の12月からは本館保管の資料並びに高島町教育委員会保管資料を主として構成した。基本的にはこのままの展示で来年度の企画展まで続くことになるが、4月に一部展示変えを行う予定である。



白鷹町笠松山経塚の石製外容器と
鋳銅製経筒 ▶

◀ 展示状況



(2) 第6回企画展

- ・テーマ 「縄文の花開いて ～一の坂・台の上遺跡～」
- ・期間 10月1日～11月30日

米沢市教育委員会において1990年から94年まで発掘調査を実施した「一の坂遺跡」(米沢市矢来1丁目)は、長さ約43.5mの超ロングハウスや、ほぼ数十cmの間隔で9棟の竪穴式住居跡が並ぶ「連房式住居跡」が発掘されて注目を浴びた。

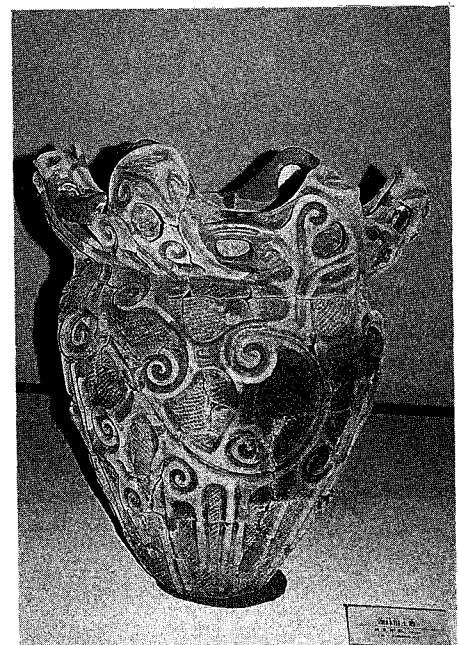
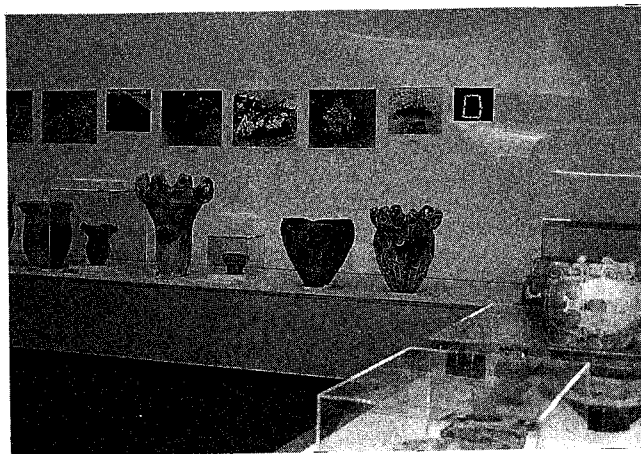
今から6,000年前の縄文前期初頭の遺跡であるが、ロングハウスは「両尖七首」(りょうせんあいくち)や「石もり」などを製作した石器工房跡と考えられている。連房式住居は、作業に従事した人々の宿舎とみられる。ここから出土した大型土器類や未成品を含む石器の数々を遺跡のパネルとともに展示した。展示資料は全部で75点である。一の坂遺跡は、昨年7月国指定の史跡となった。

「台の上遺跡」は、米沢市街南部の吾妻町、最上川上流の段丘上に位置する縄文中期の大型集落跡である。過去においてたびたび発掘調査が行われたが、この度は1995・96年に米沢市教育委員会によって発掘された資料を展示した。その発掘調査では、竪穴式住居跡58棟、十数mをこえる大型住居跡5棟をはじめたくさんの土杭・柱穴・石組炉が発掘された。

土器は雄大で豪壮な装飾模様をもつ深鉢型土器が主体をなし、大木7b式から大木8b式に及ぶ縄文最盛期のものである。その他各種の石器類、異様な相貌の土偶、三脚石製品や土製品、岩偶など多岐にわたり、総数で128点に及ぶ。

以上の2つの遺跡は、まさに縄文文化の再評価と見直しにつながるものである。自然と共生するなかで豊かな生活文化と精神文化を築き上げた縄文時代の生活や経済活動にせまる上で重要な課題を現代になげかけるもので、見学に訪れた人々に大きな感動を与えた。

▼ 展示状況



▲ 台の上遺跡の縄文中期土器

4. 教育普及活動

(1) 特別公開講演会

6月1日(日) 「古代出羽の都」 受講者 24名
講師 酒田市中央高校教諭 佐藤 禎 宏 氏

テーマ展「考古資料からみた古代・中世」の特別講演会として開催した。出羽国の国府について、発掘調査、文献、そして地層からと、さまざまな角度からの見解を述べられた。はじめに、酒田市城輪柵及び八森遺跡の発掘調査の経過とそ成果について、そして『日本三代實録』に記載された仁和三年五月二十日条の文献を検討し、話された。

10月26日(日) 「縄文文化の魅力」 受講者 87名
講師 國學院大学教授 小林 達 雄 氏

第6回企画展「縄文の花開いて～一の坂と台の上遺跡～」特別講演会として、また、まほろば縄文祭りと同日に開催した。遺跡から読み解いて行くものは、どんな家に住み何を食べていたかということだけではないとし、縄文文化の人々の観念や概念、言葉などについて、現代と比較しながら分かりやすく話された。

なお、考古の会誌である『うきたむ考古第3号』に講演記録を掲載する。

(2) 体験教室

①縄文の土偶づくり教室

1回目 1月14日(土) 形づくり
2回目 7月12日(土) 野焼き

参加者 14名 講師 米沢市教育委員会 手塚 孝 氏

体験学習も毎年少しずつ指向を変えながら行っている。

まずは野外に出て、ヨモギと砂山を採取し粘土を調整する。その後、竹ひごで、骨組みを作り、中空土偶の場合は柔らかい紙で膨らみをつけてから、板状の場合はそのまま粘土で形を作って1日目が終わる。

野焼きは、軽く地面に穴を掘り、数分焼いて出来上がる。焼き上がって早めに洗うと色がきれいにできるとの話に、各自大事に洗い上げ完成した。

②土器づくり教室

1回目 9月14日(日) 土器づくり
2回目 10月19日(土) 野焼き

参加者 17名 講師 陶芸家 水野 哲 氏

今回で6回目になった。1日目は施文具をつくり土器を形成し、2日目は野焼きである。今回より、野焼き広場として整備された空間にて学習を行った。来年度より、資料館裏に完成した体験学習用の施設を使用することになる。

③編み布づくり

2月14日(土) 参加者 6名

編み布教室としては2回目になるが、編み方のみでは短時間でも体験できるので、本年度は共催事業として数回行った。冬季であり、参加者も少ないが、これを機会に自分でも編みたいという人が多い。そのような人が今後どのような作品を展開してくれるのか楽しみである。再び資料館の事業に協力してくれることを期待したい。

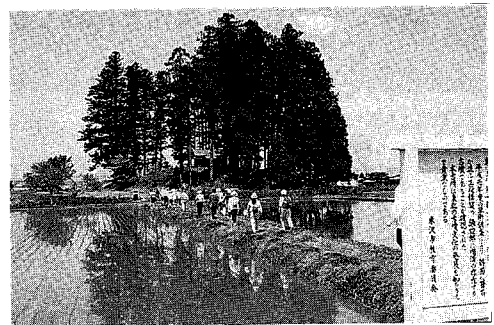
(3) 遺跡めぐり

①春の遺跡めぐり

5月18日(日) 参加者 31名

講師 米沢市教育委員会 手塚 孝氏

定員の20名を越える申し込みのため、車2台で対応した。今回は米沢市内、成島古墳群、寶領塚古墳、戸塚山古墳群、木和田窯跡。成島古墳群と戸塚山古墳群への散策は、高齢の方には少々きつかったようだが、山頂部の古墳群でその発掘の解説を聞きながらの眺めは心地よいものであったと思う。



▲寶領塚古墳

②夏休み親子で遺跡探検

8月4日(日) 参加者 2名 講師 川崎利夫館長

町内縄文草創期の洞窟遺跡をめぐった。夏休みということで、親子の参加を募ったが、参加が少なく残念である。

②秋の遺跡めぐり

11月9日(日) 参加者 13名

講師 高畠町教育委員会 井田秀和氏、川崎利夫館長

今回のエリアは町内和田地区。今回は六面幢、草木塔など石造物が見学の中心となった。その他鼠持古墳など。古くから、奥羽山脈を越えて関東地方との交流があった地域である。わずかに残された中世的な景観を眺めながら学習した。

(4) まほろば縄文まつり

10月26日(日) 参加者 一般 51名、スタッフ・招待者等 27名

出演 長井市縄文太鼓 協力 歴史公園管理組合

例年は「月見の宴」と題し中秋の名月の前後に行っていたが、今回はまほろば縄文まつりと名称を変えて開催し、特別講演会も同日開催した。そのため、体験学習を縮小し、参加者は縄文料理の試食とし、料理は昨年に引き続き歴史公園管理組合に協力のもと、事務局側で用意した。

午前から6時まで以下のような日程で行った。

- ・縄文の料理作り〈歴史公園管理組合・事務局〉
- ・特別講演会〈『縄文文化の魅力』小林達雄〉
- ・縄文(古代)料理の試食会
縄文クッキー2種、黒米、赤米、アサリ汁、魚の石蒸し
- ・縄文まつり〈長井市縄文太鼓の演奏〉
- ・縄文の語らい



▲縄文料理マスの朴葉蒸し



▲長井市縄文太鼓の演奏

(5) 考古学入門講座

第4期やさしい考古学入門講座 ～遺跡発掘最前線～「遺跡を掘る」パート2

7月6日(日)～10月5日(日) 参加者 述べ 111名

今期は全期5回に短縮して開催し、又、興味ある講座のみの受講もしやすくした。昨年に引き続き、遺跡発掘の最新情報を、現場に携わった講師により分かりやすく講義して頂いた。また、最終日は昼食に、芋煮を土器で作り、受講者、講師を交えて懇親会とした。主な講義内容は以下の通りである。

第1回 最古の石器を求めて 梶原 洋 講師

旧石器時代研究の歴史から、現在日本最古と言われる60万年前の宮城県上高森遺跡の発見とその研究状況について。また、上高森遺跡と奥羽山脈を挟み対象位置にある山形県袖原遺跡との関連性や、旧石器時代の知的能力の研究と推測などについて講義された。

第2回 大型住居跡を掘る 手塚 孝 講師

今回は、夏休みということもあり、中学生も受講した。今年、国指定となった一の坂跡の大型竪穴式住居跡（ロングハウス）の調査についてを中心に、縄文の大型住居の定義、その出現から消滅までについて講義された。

第3回 山形県における横穴式石室 井田 秀和 講師 川崎 利夫 館長

前半は川崎館長より、県内古墳の概要についての講義があり、後半は屋外学習体験である。昨年度町教育委員会で調査を行った味噌根古墳に移動し、横穴式石室を調査するに当たっての準備、用具等の説明をした。

第4回 国府とその周辺を掘る 佐藤 禎 宏 講師

『古代のまじないといのり』というサブタイトルで、全国的にも唯一の祭祀遺跡である八幡町俵田遺跡の調査を中心に、古代東北におけるまじないの世界について講義された。

第5回 中世の遺物から中世社会を考える 山口 博之 講師

万事金の世の中ー中世貨幣事情よりーと題して、貨幣に焦点を絞り、お金とは何だろうとの問いかけから始まった。そして、中世のお金の流通、渡来銭、出土銭の様子から、当時の貨幣の価値観とその社会について講義された。

第3回 山形県における横穴式石室屋外学習▶



(6) その他の教育普及事業

① 風土記の丘写生大会 5月5日(日) 参加者 16名

5月18日に表彰式を行った。その後、6月20日までに館内に作品を展示した。

② 夏休み自由研究相談 8月6日(水) 参加者 0名

7日(木) 参加者 1名

小学生の夏休みの宿題を対象に、館内資料を閲覧できるようにし、研修室を開放したが、相談者は1組の家族のみに終わった。

③ 少年少女考古学教室

4月25日(金) 屋代小学校6年1・2組 53名 来館学習

5月7日(水) 和田小学校6年1・2組 出張授業

10月24日(金) 南陽市立沖郷中学校『地域文化講座』出張体験学習

町内小中学生の授業の中で、学習することを目的に開催した。利用は3件で、形態もさまざまであった。

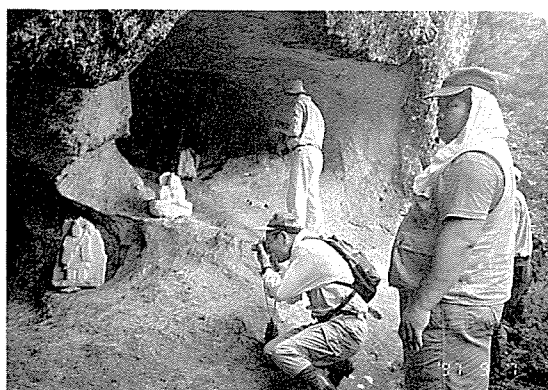
(7) 「うきたむ考古」の事業

「うきたむ考古の会」は、平成7年9月に発会した自主的な会である。やさしくわかる考古学の普及と創造を目指し、考古学を学ぶ生涯学習の場として相互の交流を深めることを目的としている。事務局は当館に置かれている。年1度の会誌の発行を軸に会員の意志を尊重しながら、様々な試みをする場である。

- ・～みる・きく・ふれる遺跡の旅2～「黄金の都 藤原文化のふるさとを訪ねる」
6月21日(土)～22日(日) 参加者34名
会員及び一般の参加者を募り、大型バスにて遺跡・史跡の見学学習を中心に、1泊2日の旅を行った。
- ・会誌「うきたむ考古第2号」発行 6月5日(水) A5判 総頁60頁 発行300部
会員による寄稿の他、前年度特別講演会録（縄文文化と現代 佐原 眞）を加え発行した。エッセイ的なものから論文まで、会員の様々な視点で執筆されている。
- ・総 会 6月1日(日)
- ・小湯山散策 9月7日(土) 参加者6名
470体余りの石神・石仏の安置された小湯（こよう）山を、町文化財係長である井田秀和氏の解説案内により散策した。町内二井宿地区。
- ・学習会・芋煮会 10月5日(土)
館内利用の自主的な学習会の後、入門講座参加者、講師とともに懇親を兼ねて芋煮会を行った。



▲遺跡の旅2 無量光院跡



▲小湯山散策

5. 資料の収集・保管

山形大学教育学部（小白川キャンパス）において保管していた埋蔵文化財の一部を本館において保管することになり、4月11日に整理箱にして約100箱を移管した。それらはすべて遺跡ごとに区分し整理を行ったが、ほぼ90パーセント完了した。移管した埋蔵文化財は次表の通りである。

※数量、数字は整理箱の数、Lは大箱、M中箱、S小箱

整理番号	市町村名	遺跡名	時代・時期	数量	主な資料
001	高畠町	日向洞穴	縄文早・前・晩期	2M・1S	獣骨、貝類、土器片、石器
002	高畠町	一の沢洞穴	縄文各期	3M	土器片、石器
003	高畠町	火箱岩洞穴	縄文各期	7M	土器片、石器（前期多い）
004	高畠町	神立沢洞穴	縄文・弥生	1M	土器片、石器（草創期細隆起線文土器片あり）
005	高畠町	尼子岩陰	縄文各期	6M・1S	土器片、石器（晩期多い）
006	高畠町	観音岩	縄文～弥生	1M・3S	弥生土器片、骨器、貝鏃、貝輪、石器、骨片
007	高畠町	上平柳	縄文後期	4M	土器片
008	高畠町	羽山古墳	古墳時代	1M	人骨
009	高畠町	北目古墳	古墳時代	1M・1S	人骨片、土器片
010	高畠町	金原古墳	古墳時代	1S	人骨片、土器片、鉄器片
011	高畠町	鼠持古墳	古墳時代	1M	人骨片、土器片
012	東根市	蟹沢	縄文晩期	1L・14M・1S	小型完形土器20、大型土器片、その他土器片、石器類（一括遺物）
013	上山市	牧野	縄文中期	1M	三脚土製品18、三脚石器8 土器片30
014	寒河江市	平野山3・4号窯	平安時代	1M	軒丸瓦3、軒平瓦1、坏8 蓋2、須恵器破片
015	山形市	小松原窯	平安時代	1M	丸瓦、平瓦、須恵器片
016	山形市	オサヤズ	平安時代	1M	丸瓦、平瓦
017	大石田町	大畑山	縄文早期	1S	早期土器片31、石器8、剥片
018	山形市	七浦	古墳～平安	1M	小型丸底埴1、土師器坏5 平安期坏3、高坏脚台1、 他破片
019	山形市	谷柏	弥生～古墳	1L	弥生土器（半完形）5、土師器 壺2、器台2、高坏脚部3 （計13、木製品（織機部品）3）

整理番号	市町村名	遺跡名	時代・時期	数量	主な資料
020	米沢市	木和田古墳	古墳時代	1 M	土師器3、須恵器2、他南陽市狸沢古墳出土須恵器坏1
021	米沢市	戸長里窯跡	江戸前期	1 M	陶器片、窯道具類
022	山形市	江俣	弥生時代	1 M	弥生土器片、磨製石斧2
023	山形市	嶋	古墳時代	1 M	土師器大型破片2、竪櫛1、骨製品1、土玉4、粉類、木製品(槌・矢)3、山形市漆山出土弥生中期土器片含
024	西川町	弓張平	旧石器時代	1 M	スクレパ ^o -他石器、山形市成沢(旧石器)、寒河江市高瀬山(縄文)石器類含
025	山形市	盃山南	平安時代	1 M	須恵器・赤焼土器片、おろし2
026	寒河江市	高瀬山	縄文中期	3 M	土器片、石器
027	上山市	葉山窯跡	奈良・平安	1 M	甕・坏など3、川西町壇山窯跡出土品含
028	遊佐町	杉沢窯跡	平安時代	1 M	須恵器片、珠洲系陶器片含(出土地不明)
029	寒河江市	柴橋窯跡	平安時代	1 M	須恵器片
030	山形市	千葉屋敷	縄文後・晩期	2 M	土器片
031	山形市	中谷柏	縄文後期	6 S	土器片
032	寒河江市	石田B	縄文晩期	1 M・2 S	土器片
033	高島町	石ヶ森	縄文後期	1 M	土器片
034	朝日町	白倉	縄文中期	3 M(木箱)	土器片、石器、剥片
035	金山町	金山	縄文中期	2 M	土器片
036	戸沢村	津谷	縄文中期	1 M	土器片
037	八幡町	泥沢	縄文後期	1 M	土器片
038	河北町	沢畑	縄文中期	1 M	土器片
039	大石田町	庚申町	縄文前期	1 M	土器片(大型破片あり)
040	大江町	庚申山	旧石器時代	3 M	礫、石核、剥片等
041	小国町	東山A	旧石器時代	1 M	石器、剥片、石核、原石
042	小国町	湯の花	旧石器時代	2 S	礫、剥片、石器
043	朝日村	越中山	旧石器時代	1 M	石器、剥片、石核、原石
044	東根市	大木沢	旧石器時代	1 M	石器、剥片、原石
045	山形市	五日町	奈良~平安	1 M	土師・須恵器片、山形市薬師町五中敷地内出土土器片含

整理番号	市町村名	遺跡名	時代・時期	数量	主な資料
046	山形市	中野	古墳時代	1 M	土師器片、一部不明含
047	山形市	漆山	奈良～平安	1 M	土師・須恵器片
048	山形市	下宝沢	縄文後期	2 M	土器片
049	山形市	赤石	縄文晩期	1 M	土器片
050	白鷹町	中十王	縄文中期	1 M	土器片
051	鶴岡市七ヶ浜町	大木囲貝塚	縄文中期	2 M	土器片(大木10式)、貝類、 獣・骨類
052	山形市	七浦	弥生・古墳	1 L	弥生大甕(半完形)、須恵器 大甕(半完形)、須恵器破片
053	県内各地		縄文時代	1 L	尾花沢市鶴子深鉢2、山形市 谷柏鉢2、寒河江市谷沢深鉢 1、高畠町上平柳小型深鉢1 高畠町石ヶ森小壺1
054	大蔵村	白須賀	縄文中期	1 L	深鉢7、蓋1
055	米沢市	柰代	縄文・弥生	1 L	台付鉢1、浅鉢2、深鉢2
056	東根市	蟹沢	縄文晩・弥生	1 L	晩期浅鉢2、深鉢2、河北町 花ノ木出土弥生浅鉢
057	鶴岡市三面村	三面	縄文時代	1 M	深鉢1、注口土器1、深鉢 破片2個体分
058	真室川町	小川内	縄文後期	1 L	注口土器1、台付鉢2
059	山形市	神の尾	中世	1 S	南北宋銭38枚
060	寒河江市	石田B	縄文時代	1 L	深鉢1、浅鉢1、東根市花岡浅 鉢1、川西町平谷地小型深鉢1 出土地不明 大型浅鉢1、 台付鉢1
061	高畠町	神立洞穴他	弥生時代	1 M	花ノ木(双口重層土器1浅鉢 1)、柰代1、神立2

山形大学よりの移管遺物

- ・遺跡数 61 (内県外2)
- ・整理箱(バンジュウ) 大箱9、中箱88、小箱20、計117箱
- ・未登載 表採遺物 中箱6、遺跡不明遺物 中箱4

6. 資料の活用

・館内利用（写真撮影）の状況

資料名	遺跡と時代	用途	期 日	目 的
炭化クルミ	押出遺跡（縄文・前期）	展 示	9. 6. 26~ 9. 19	企画展展示 （山形県立博物館）
炭化クリ				
炭化クリ	下野遺跡（縄文・中期）			
炭化トチ				
炭化ドングリ				
縄文土器				
石 皿	谷地遺跡（縄文・中期）			
磨 石				
展示パネル 3枚				
彩漆土器	押出遺跡（縄文・前期）	展 示	9. 7. 15~ 9. 30	特別展示 （岩手県 遠野市立博物館）
漆付着土器				
深鉢形土器				
浅鉢形土器				
樹皮製品				
炭化食品				
石 皿				
石製装飾品				
異形石器				
小型石棒				
土 笛				
彩漆土器 2点				
彩漆土器 （レプリカ）	押出遺跡（縄文・前期）	展 示	9. 9. 16~11. 14	漆器と漆の文化史展 （長井市教育委員会）
カシツヅクガイ	日向洞窟遺跡（縄文・草創期）	展 示 印刷物掲載	9. 9. 20~11. 16	企画展展示 （山形県立博物館）

・刊行物一覧

平成9年4月1日から平成10年3月31日までの刊行状況は、下記のとおりである。

書 名	発 行 日
館 報 うきたむ 9号	平成9年6月10日
第6回企画展図録 一ノ坂遺跡・台ノ上遺跡	平成9年10月1日
館 報 うきたむ 10号	平成9年10月15日

7. 入館状況

平成9年度 月別入館者一覧表

(人)

月分	有料入館者数 (人)					無料入館者数 (人)					合計
	個人		団体		計	減免者数		視察その他		計	
	一般	児童等	一般	児童等		一般	児童等	一般	児童等		
4	175	27	0	0	202	30	162	6	0	198	400
5	258	80	117	24	479	116	314	70	12	512	991
6	188	27	98	111	424	15	3	81	20	119	543
7	157	17	63	0	237	160	453	132	33	778	1,015
8	349	138	84	2	573	25	13	34	7	79	652
9	233	23	143	70	469	304	462	44	35	845	1,314
10	403	61	126	0	590	62	36	58	3	159	749
11	321	55	96	0	472	170	39	25	0	234	706
12	60	4	31	0	95	0	3	6	0	9	104
10.1	33	12	0	0	45	40	0	0	0	40	85
2	37	6	0	0	43	4	0	43	0	47	90
3	169	31	0	0	200	14	36	7	0	57	257
計	2,383	481	758	207	3,829	940	1,521	506	110	3,077	6,906

772 193%

2489 250%

~~1503~~ 277%

1720 (7090)

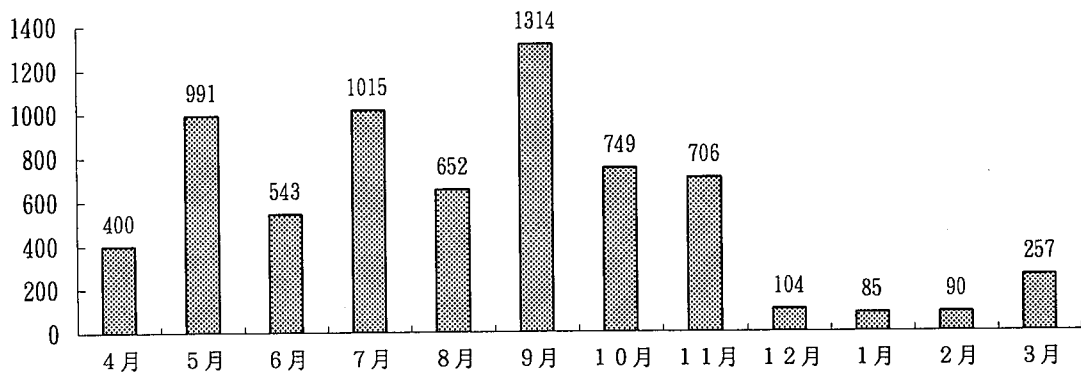
1541 200 (1253)

889

2152 (1066)

770

209



主な入館団体一覧

月日	団 体 名	人数	月日	団 体 名	人数
4. 23	山形県立高畠高等学校	32	9. 13	高畠町立屋代小学校	129
5. 2	高畠町立二井宿小学校	24	9. 25	山形県立長井高等学校	250
5. 2	置賜地区高校理科教育研究会	31	9. 27	高畠町立高畠小学校	170
5. 7	南陽市小学校6学年部会	15	10. 16	福島県鹿島町国保協議会	20
5. 9	山形県立高畠高等学校	33	10. 16	長井市豊田地区しらかわ学級	14
5. 9	高畠町立第一中学校	135	10. 18	福島県東和町上太田小学校PTA	21
5. 13	山形市立高楯中学校	81	10. 25	国民金融公庫山形支店	20
5. 23	村山市立大倉小学校	24	10. 26	まほろばふれあい遠足	45
5. 30	東置賜教育協議会	23	10. 29	米沢興譲館はたち会	28
6. 5	千葉県鎌ヶ谷中学校林間学校	13	10. 31	塩竈市文化財保護委員会	14
6. 18	広報文芸選者投稿者の集い	40	11. 8	山形県観光物産課	12
6. 18	高畠町内小学校6学年部会	15	11. 12	金山町(あたらしい旅)研修	20
7. 2	南陽市中学校長会	9	11. 20	ベテランズカレッジ(歴史案内養成講座)	35
7. 3	山形県立米沢工業高等学校	159	1. 23	西置賜教育事務所(事務職員研修)	40
7. 4	山形県立米沢工業高等学校	152	1. 27	国土館大学	4
7. 9	高畠町立第一中学校	15	2. 21	J A おきたま高畠地区青年部	30
7. 13	山形市立第5小学校	134	3. 25	中国浙江省考古文物研究所長	5
7. 16	山形県議会文教公安委員会	12	3. 29	高畠町青年会議所	24
7. 23	米沢市中央公民館	36			
7. 25	ベテランズカレッジ	30			
7. 25	東京都墨田区小学校	38			
7. 29	寒河江市少年少女郷土史講座	18			
7. 30	東置賜地区小学校教育研究会	30			
8. 28	東京都墨田区教育委員会初任者研修	25			
8. 31	仙台市富沢遺跡保存館遺跡見学会	32			
9. 6	山形市民大学(元木公民館)	31			
9. 7	米沢市立窪田小学校	135			

来観者アンケート

このアンケートは、平成9年度のアンケート等を回収して、その結果をまとめたものである。

(1) 展示及び施設全般に関する意見

- ◎ 資料をととても近い距離で見ることができ、良かったです。パネルの説明がわかりやすかったです。(20代 女性)
- ◎ 展示物の説明が素人にはもう少しあった方が良いと思う。大変環境も良く設備も申し分ないと思う。(40代 男性)
- ◎ 保存及び管理状態が大変良く、頭が下がる思い。縄文、石器時代の文化を深く知ることができた。(50代 男性)
- ◎ きれいな建物です。もっと触れる物を増やしてほしい。今度縄文クッキーの作り方を教えて下さい。(10代 学生)
- ◎ 係員のまじめな説明とやさしい対応。資料がきれいに整理され陳列してあり感じが良い。(40代 男性)
- ◎ 資料館の存在は知らなかったが、入館して見て考古の本に記載されている著名な遺跡の遺物を見られて良かった。古代の遺跡が豊富な場所なので、館のより一層の充実を期待します。(50代 男性)
- ◎ 展示方法が工夫されており分かりやすい。(50代 男性)
- ◎ 展示品が少ないと思いました。ビデオは分かりやすかった。(30代 女性)
- ◎ 授業でやっていることよりも詳しく知ることができ、良かったです。前にも1度来たことがあり、何度見てもいいなあと思いました。(10代 学生)
- ◎ 火おこしの道具があって、火のおこし方がむずかしかった。(10代 学生)
- ◎ ビデオの活用を増やしていただくと、もっと分かりやすいかと思います。(30代 女性)
- ◎ 説明が聞こえにくかったので、ハンドマイクでもあれば良いと思いました。(60代 男性)
- ◎ ビデオの音が低くて聞き取れなかった。もう少しスペースがあると思っていました。(60代 男性)
- ◎ 場所が広い、物が少ない。けれどもこの土地にあったものなので興味深かった。(10代 男性)
- ◎ 展示館、展示方法が整然として学習するのに大変良い。資料の点数が館の容積に比べ少ない。(50代 男性)

(2) その他の意見

- ◎ 道路に資料館の案内板があれば良いと思います。(40代 男性)

- ◎ 県内置賜郡に、こんなに古墳があったとは思わなかった。資料館のPRなどあまり聞かない様な気がする。(30代 男性)
- ◎ この地方は、考古学的に見ると大変おもしろい地方だと思う。今度は遺跡めぐりでもしてみたいものだ。(20代 男性)
- ◎ 体験(住居作り、やり投げ等)が行われているのはおもしろそうで、参加できないのが残念です。(20代 女性)
- ◎ 分かりやすくご説明いただき誠にありがとうございました。大変勉強になりました。遺跡の多い我が町を益々大切にしたいと思います。(40代 女性)
- ◎ 縄文時代のクッキー、漆器に感心しました。古代のクッキーを食べてみたいものです。ドングリのクッキーをお土産品として作ったらいかがでしょうか。(40代女性)
- ◎ 実際に土器や住居づくりが体験出来るのが楽しそうだと写真を見ていて思いました。子供と参加したいと思います。(20代 女性)
- ◎ 土器づくりの写真を見て、私もやってみたいと思いました。(10代 学生)

◇高畠町立二井宿小学校の学年行事での感想(縄文土器づくり)

「楽しかった縄文土器作り」 6年女子児童

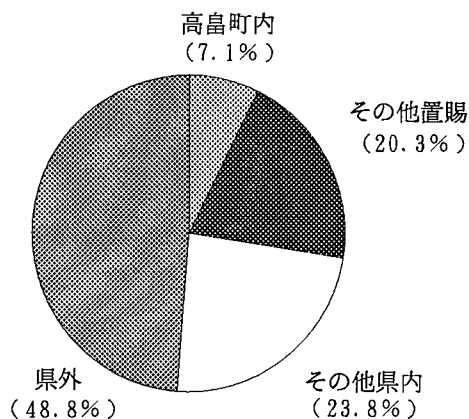
私が縄文土器を作って驚いたことは、縄文つけでした。縄をころがただけであんな模様ができるのはすごいなと思いました。それと、縄文はかざりの模様だと思っていたけれどちゃんと焼くときに割れにくいなどの理由があるのにも驚きました。

作る時は、ちゃんとできるか心配だったけど資料館の宇佐美さんが分かりやすく教えてくださったので、自分ではとっても上手にできたと思います。初めてやった縄文土器作りは、とっても楽しかったです。

[アンケート回答者の地域割合]

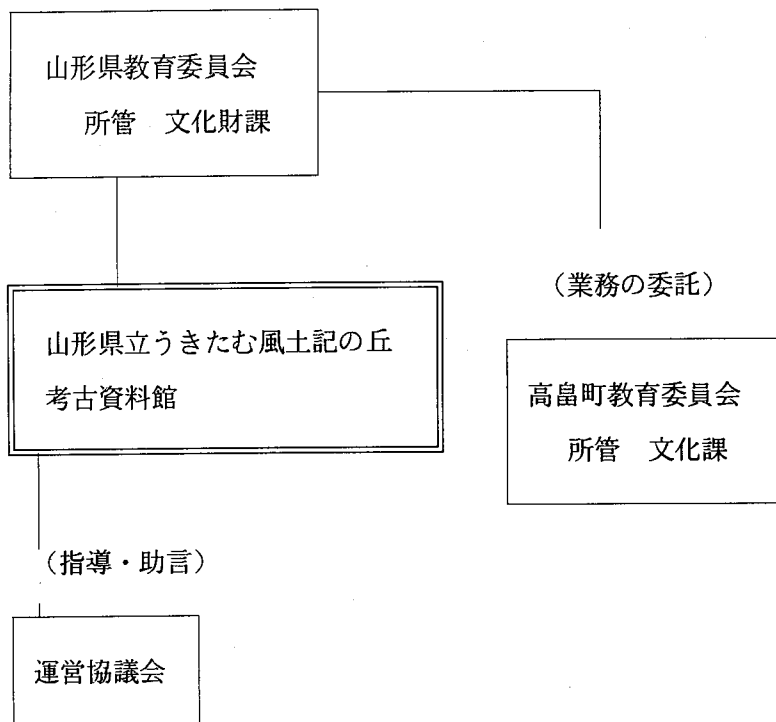
「縄文土器をつくってみて」児童の母親

話を聞いた時は、きっと作り方も大変だろうと考えており、決して楽しくやれるものではないと思っていました。作り方をおしえていただくうちに、時間のたつのも忘れていつのまにかそこに集中している自分がいて、時々ハッとして回りを見渡したりもしました。正に「案ずるより生むが易し」の心境でした。あらためて昔の人の知恵に驚き、子供と一緒に一つの物を作る事の楽しさを味わいました。出来は50点位だったけど完成を楽しみにしています。



8. 管理及び運営

(1) 組織・職員



山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員名簿

職名	氏名	住所	電話番号	備考
館長(嘱託)	川崎利夫	天童市中里2-3-12	023-655-2693	
主事	鈴木栄一	高島町大字亀岡3913	0238-52-2862	
主事	島津美智雄	高島町大字竹森4467	0238-52-0283	
嘱託	宇佐美みふゆ	高島町大字下和田674	0238-56-3070	
臨時職員	岩木道子	高島町大字竹森2876-1	0238-52-0082	

(2) 運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

氏名	住所	自宅電話番号	備考
安彦 好重	山形市北山形 1-6-8	023-644-9246	山形県文化財保護協会会長
佐藤 鎮雄	南陽市三間通 1278	0238-40-2053	南陽市立中川中学校長
菅井敬一郎	南陽市宮内 3652	0238-47-2660	南陽市教育委員
浜田 清明	米沢市東 3-5-22	0238-23-2318	山形県文化財保護協会理事
舟山 豊弘	米沢市矢来 2-6-20	0238-22-4075	米沢市教育委員会文化課長 山形県博物館連絡協議会副会長
山崎 正	高畠町大字高畠 1543-7	0238-52-1013	高畠町立郷土資料館長
吉野 智雄	上山市須田坂 22	023-674-2946	上山市立図書館長

委員長 浜田 清明 副委員長 吉野 智雄

[今年度の運営協議会]

- 第1回 開催期日 11月27日 本館研修室
会議内容 (1)平成8年度考古資料館事業概要について
 (2)平成9年度考古資料館事業について
 (3)その他
- 第2回 開催期日 3月13日 本館研修室
会議内容 (1)平成9年度事業報告について
 (2)平成10年度事業計画について
 (3)その他

9. まほろば古の里整備事業

県立考古資料館の東側約9ha敷地に「まほろば古の里」高島町歴史公園の整備を進めております。

この事業は、平成2年の「高島町歴史公園基本計画」に基づき、平成3年度より平成9年度にかけて、多くの歴史・風土的資源の保存とあわせ原始・古代からの歴史や文化を理解するための歴史公園施設として整備するものです。

〔事業内容〕

平成8年度は、創造の館基礎工事、あずま屋の建築、野焼き広場、園路、管理用道路、中央広場等の整備事業を行いました。

平成9年度には、創造の館の建設、登り窯、野外ステージ、縄文住居復元、アヤメ園等が整備され事業を終了します。

〔創造の館〕

平成9年度に完成する創造の館については、創造活動室と陶芸実習室があり、学習機能や創造体験を中心に遊び感覚で楽しみながら学習できる施設として開館します。

家族や団体など気軽に立ち寄り、簡単な体験活動ができるよう整備していきます。

〔縄文竪穴式住居復元作業〕

本年度に完成した縄文竪穴式復元住居作業の経過を報告します。

復元住居は、和田地区で発掘された金谷遺跡の住居遺構から想像して復元したものです。縄文後期の今から約4,000年前に生活していた時代につくられたものです。

高島町には、縄文草創期の日向洞窟・一の沢洞窟等があり1万2千年前からわたしたちの祖先である縄文人がこの地で生活していました。自然の恵が多く、生活には最適の場所だったと思われます。

ここ安久津地区は、7世紀の古墳が多い場所であり、公園内のも安久津古墳群、味噌根古墳群が現存します。公園整備にあたり復元住居の作成は、地元住民の協力を得ながら将来に渡り親んでもらいながら、管理していく目的で歴史公園管理組合の皆さんに協力していただき完成を見ることができました。

長井市の古代の丘の長者屋敷遺跡を見学し、長者屋敷遺跡保存会の斎藤管理部長さんの説明を受け、不安と自信を持ちながら、組合の男性が一丸となって作成に取り掛かっていただきました。

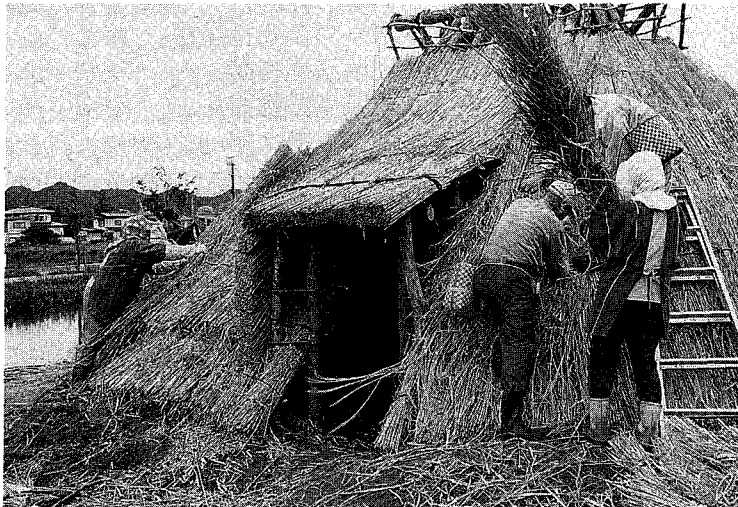
一見、カヤと山から伐採した木を組み立てれば、出来上がると考えがちですが、実際作っていくうちに、材料の種類、太さ、枝振りなどにあらゆる視点から選んで使用します。それは、その材料の使い道を最大限利用した縄文人の知恵と工夫を肌で感じることができました。またカヤ覆きにはカヤ職人がいなく、素人の集まりでしたが立派にカヤを覆うことができました。

基礎工事には、多少現代文明の重機を使いましたが、後は手仕事で完成をみることができました。

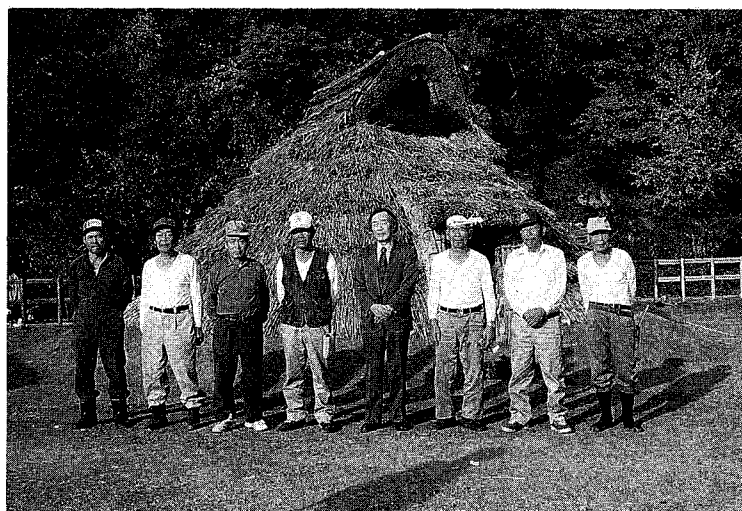
冬には、雪おろしを行い、住居の炉に火を炊いて意外と暖かい住居の中で、住居づくりの話題で疲れを癒していました。

この住居を皆さんに見て、ふれていただきながら、縄文時代のロマンを感じてもらえるよう、いつまでも大切にしていきたいと思えます。

- [事業主体] 高島町教育委員会
[受託者] 歴史公園管理組合
組合員 14名 (内男性7名)
[指導監修] 考古資料館長 川崎利夫
[作業期間] 9月16日～10月26日
[作業述べ人員] 139人
[委託費] 2,208千円
[作業内容] 復元住居2棟、炉、囲い柵
基礎土木工事含み



◀カヤ覆き作業



▲完成の復元住居

10. 受贈資料・図書・書籍

館報・年報類

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 高島町文化財年報 Vol. 1 | 高島町教育委員会 |
| 2. 斎藤茂吉記念館年報 平成8年度 | 斎藤茂吉記念館 |
| 3. 年報 平成8年度 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 4. 埋文やまがた 第7・8号 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 5. 山形県立博物館ニュース 第129～133号 | 山形県立博物館 |
| 6. 山形県立博物館報 平成9年度～平成8年度実績～ | 山形県立博物館 |
| 7. 山形市 野草園だより 10～12号 | 山形市野草園 |
| 8. 山形大学付属博物館報23 | 山形大学付属博物館 |
| 9. 芭蕉記念館だよりNo. 7 | 山寺芭蕉記念館 |
| 10. 長井市古代の丘資料館館報 第4号 | 長井市古代の丘資料館 |
| 11. 農業博物館だより No.62～63 | 岩手県立農業博物館 |
| 12. 岩手県立博物館 平成8年度 年報 | 岩手県立博物館 |
| 13. 岩手県立博物館だより No.73～75 | 岩手県立博物館 |
| 14. 博物館だより No66 | 群馬県立歴史博物館 |
| 15. 博物館だより No.84～86 | 斎藤報恩会自然史博物館 |
| 16. 秋田県埋蔵文化財センター年報 | 秋田県埋蔵文化財センター |
| 17. 秋田県立農業科学館 創刊号～2号 | 秋田県立農業科学館 |
| 18. 秋田県立博物館 館報 平成8年度 | 秋田県立博物館 |
| 19. 秋田県立博物館ニュース No.107～110 | 秋田県立博物館 |
| 20. 青森県立郷土館だより 通巻101～103号 | 青森県立郷土館 |
| 21. 仙台市博物館年報 第24号 | 仙台市博物館 |
| 22. 地底の森ミュージアム通信 3～5 | 仙台市富沢遺跡保存館 |
| 23. 地底の森ミュージアム年報 第1号 | 仙台市富沢遺跡保存館 |
| 24. 多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 平成7年度 | 多賀城市埋蔵文化財調査センター |
| 25. 東北歴史資料館年報 平成8年度 | 東北歴史資料館 |
| 26. 東北歴史資料館報 第26号 | 東北歴史資料館 |
| 27. 苫小牧市博物館だより No.37～38 | 苫小牧市博物館 |
| 28. 年報 平成8年度版 | 苫小牧市博物館 |
| 29. とまこまい埋文だより No.43 | 苫小牧市埋蔵文化財調査センター |
| 30. 北海道開拓の村だより 第9号 | 北海道開拓の村 |
| 31. 玉里村立史料館報 Vol.1～2 | 茨城県玉里村立史料館 |
| 32. 横浜市歴史博物館NEWS 6 | 横浜市歴史博物館 |
| 33. 年報 平成6年度7年度版 | 横浜市歴史博物館 |
| 34. 歴博 81～86 | 国立歴史民俗博物館 |
| 35. 江戸東京博物館NEWS vol.17～20 | (財)江戸東京歴史財団 |
| 36. 江戸東京 たてもの園だより9～10 | (財)東京都歴史文化財団 |
| 37. さきたま No. 9 | 埼玉県立さきたま資料館 |
| 38. 資料館報 No.28 1997 | 埼玉県立さきたま資料館 |
| 39. まつどミュージアム No. 5 | 松戸市立博物館 |
| 40. 松戸市博物館年報 第4号 平成8年度 | 松戸市立博物館 |
| 41. なりた No.66・67 | 成田山霊光館 |
| 42. 文化財かわら版 第8号 | 千葉県山武郡市文化財センター |
| 43. 千葉県立房総風土記の丘年報19 平成7年度 | 千葉県立房総風土記の丘 |
| 44. 長野県立歴史館だより Vol.10～13 | 長野県立歴史館 |
| 45. 東京都埋蔵文化財センター年報 17 | 東京都埋蔵文化財センター |
| 46. 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報 第11号 | 栃木県教育委員会 |
| 47. 栃木県文化振興事業団年報 平成8年度 | 栃木県文化振興事業団 |

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 48. やまかいどう No.15~17 | 栃木県文化振興事業団 埋蔵文化財センター |
| 49. 埋蔵文化財センター年報 第7号平成9年度 | 栃木県文化振興事業団 埋蔵文化財センター |
| 50. 栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第5号 | 栃木県立なす風土記の丘資料館 |
| 51. 岐阜県博物館だより 第62~64号 | 岐阜県博物館 |
| 52. 岐阜県博物館報 第20号 | 岐阜県博物館 |
| 53. NKH 長岡市立科学博物館報 No.71 | 長岡市立科学博物館 |
| 54. たてはく 第19~23号 | 富山県立山博物館 |
| 55. 年報 富山県立山博物館 1997年第6号 | 富山県立山博物館 |
| 56. 名古屋市見晴台考古資料館 年報14 | 名古屋市見晴台考古資料館 |
| 57. リトルワールド No.61~64 | 野外民族博物館リトルワールド(愛知) |
| 58. リトルワールド 年報 第19号 1996年度 | 野外民族博物館リトルワールド(愛知) |
| 59. 滋賀埋文ニュース 第204~211号 | 滋賀県埋蔵文化財センター |
| 60. おおてみち 第19~22号 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 61. 滋賀県立安土城考古博物館 平成8年度 年報 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 62. アスカディア・古墳の森 Vol.6~7 | 大阪府立 近つ飛鳥博物館 |
| 63. 大阪府立近つ飛鳥博物館 館報2 | 大阪府立 近つ飛鳥博物館 |
| 64. 兵庫 歴博ニュース No.60 | 兵庫県立歴史博物館 |
| 65. 紀伊風土記の丘年報 平成6年度 第22号 | 和歌山県立紀伊風土記の丘管理事務所 |
| 66. 歴風 第16~19号 | みよし風土記の丘ミュージアム |
| 67. 吉備路郷土館 NO.20 | 岡山県立吉備路郷土館・風土記の丘 |
| 68. 年報 第18号 | 広島県立みよし風土記の丘歴史民俗資料館 |
| 69. ひろしまの遺跡 第69~72号 | (財)広島県埋蔵文化財調査センター |
| 70. 年報 12~13 平成7年度 | (財)広島県埋蔵文化財調査センター |
| 71. 八雲立つ風土記の丘 No.144~145 | 島根県八雲立つ風土記の丘 |
| 72. 愛媛県歴史文化博物館だより 第10~12号 | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 73. 愛媛県歴史文化博物館年報 平成8年度 | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 74. 高知県立歴史民俗資料館だより 第23~26号 | 高知県立歴史民俗資料館 |
| 75. 高知県立歴史民俗資料館年報 No.6 | 高知県立歴史民俗資料館 |
| 76. 下関市立考古博物館年報2 平成8年度 | 下関市立考古博物館 |
| 77. 九州歴史資料館年報 平成8年度 | 九州歴史資料館 |
| 78. 佐賀県立博物館・美術館報 No.115~116 | 佐賀県立博物館・美術館 |
| 79. 宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報 1996 | 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 |
| 80. USM NO.42~43 | 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 |
| 81. 別府大学附属 博物館だより No.41 | 別府大学附属博物館 |
| 82. 海のはくぶつかん Vol.27 No.2~6 | 東海大学海洋科学博物館 |
| 83. 明治大学博物館 年報 1996年度 | 明治大学博物館 |

報告書類

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 寒河江市調査報告書第13~14集 | 寒河江市教育委員会 |
| 2. 高島町 第5集 合津・味噌根・高安 | 高島町教育委員会 |
| 3. 山形県調査報告第39~50集 | (財)山形県埋蔵文化財センター |
| 4. 馬上台遺跡 | 山形市教育委員会 |
| 5. 山辺町 第5集 北作古屋敷館跡 | 山辺町教育委員会 |
| 6. 長井市 第14集 | 長井市教育委員会 |
| 7. 白鷹町 称名寺裏遺跡 | 白鷹町教育委員会 |
| 8. 米沢市 第54~55集 | 米沢市教育委員会 |
| 9. 岩手県調査報告第31~32,52~53,69,72集 | 岩手県教育委員会 |
| 10. 郡山東部18 他計35冊 | 郡山市教育委員会 |
| 11. 秋田県調査報告第262,268~270集 | 秋田県教育委員会 |
| 12. 青森県立郷土館調査報告書 第40集考古11 | 青森県立郷土館 |
| 13. 青森市埋文調査報告書第31~35集 | 青森市教育委員会 |

- | | |
|--|----------------|
| 14. 仙台市文化財調査報告 第205集 | 仙台市教育委員会 |
| 15. 多賀城市文化財調査報告書 第42集 | 多賀城市教育委員会 |
| 16. 美沢10遺跡 | 苫小牧市教育委員会 |
| 17. 柏原5遺跡 | 苫小牧市教育委員会 |
| 18. 県文化財調査報告書第317,319,320,329集 | 福島県教育委員会 |
| 19. 五万堀遺跡 | 玉里村教育委員会 |
| 20. 印旛郡市調査報告第82,116,112,124,127,128集 | (財)印旛郡市文化財センター |
| 21. 山武郡市調査報告第31,37,43,45,46集 | (財)山武郡市文化財センター |
| 22. 東総文化財センター発掘調査報告書第3,4,6,10,12集 | (財)東総文化財センター |
| 23. 将軍山古墳 | 埼玉県教育委員会 |
| 24. 調査研究報告 第10号 | 埼玉県立さきたま資料館 |
| 25. 東京都埋文調査報告 第37~41,43,45~48集 | 東京都埋蔵文化財センター |
| 26. 同志社大学校地学術調査委員会 No.23 | 同志社大学校地学術調査委員会 |
| 27. 栃木県埋文調査報告第109集他計21冊 | 栃木県教育委員会 |
| 28. 千葉県印旛郡白井町 | 白井町教育委員会 |
| 29. 中条町埋文調査報告 第11~13集 | 新潟県中条町教育委員会 |
| 30. 東京都立大学考古学報告1 | 真人原遺跡発掘調査団 |
| 31. 京都市埋文調査報告第14,16冊 | (財)京都市埋蔵文化財研究所 |
| 32. 草津市文化財調査報告書26,28 | 滋賀県草津市教育委員会 |
| 33. 鹿苑寺(金閣寺)庭園 | 鹿苑寺 |
| 34. 太宰府史跡 | 九州歴史資料館 |
| 35. 佐賀県文化財調査報告書 第119集 | 佐賀県教育委員会 |
| 36. 小郡市調査報告書 第102,103,105,110,112~118集 | 小郡市教育委員会 |

調査説明資料

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. 尾張藩上屋敷跡遺跡 発掘調査概要V | (財)東京都教育文化財団 |
| 2. 旧汐留貨物駅跡地内遺跡 発掘調査概要Ⅲ | (財)東京都教育文化財団 |
| 3. 漆山長表遺跡 調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 4. 植木場一遺跡 第2次調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 5. 昭和新田遺跡 調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 6. 野向遺跡 第2次調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 7. 上高田遺跡 第3次 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 8. 高瀬山遺跡(1期) 第4次 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 9. 遊佐町 北目長田遺跡 第3寺調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 10. 東根市 小田島城跡 調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 11. 小国町 市野々向原遺跡 第2次調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 12. 朝日町 八ッ目久保遺跡 調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 13. 寒河江市 高瀬山遺跡SA 第3次調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 14. 山辺町 大塚天神古墳 | 山辺町教育委員会 |
| 15. 遊佐町 北目長田遺跡 第3次調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 16. 八幡町 堂の前遺跡 第9次調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |
| 17. 小国町 千野遺跡 調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター |

紀要等

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 安久津延年 | 高島町教育委員会 |
| 2. 山形県立博物館研究報告 第18号 | 山形県立博物館 |
| 3. 芭蕉記念館紀要 第2号 | 山形市文化振興事業団 |
| 4. 紀要 X V I | (財)岩手県立文化振興事業団埋蔵文化財センター |
| 5. 紀要 X V I I | (財)岩手県立文化振興事業団埋蔵文化財センター |
| 6. 秋田県立博物館研究報告 第22号 | 秋田県立博物館 |
| 7. 諏訪堂の民俗 農民民俗調査報告書4 | 青森県立郷土館 |

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 8. 調査研究年報 第21号 | 青森県立郷土館 |
| 9. 仙台市博物館調査研究報告 第17号 | 仙台市博物館 |
| 10. 市民文化財研究員活動報告書 | 仙台市富沢遺跡保存館 |
| 11. 研究報告 第7号 | 苫小牧市博物館 |
| 12. 福島考古 第38号 | 福島県考古学会 |
| 13. 横浜市歴史博物館 紀要 Vol. 1 | 横浜市歴史博物館 |
| 14. 横浜市歴史博物館 紀要 Vol. 2 | 横浜市歴史博物館 |
| 15. 横浜市歴史博物館民俗調査報告 第2集 | 横浜市歴史博物館 |
| 16. 調査研究 鉄製品の生産・流通と武士団 | 横浜市歴史博物館 |
| 17. 群馬県立歴史博物館紀要 第18号 1997 | 群馬県立歴史博物館 |
| 18. 東京都江戸東京博物館研究紀要 第2号 | 江戸東京博物館 |
| 19. 人類誌集報1997 東京都立大学考古学報告 2 | 漆利用の人類誌調査グループ |
| 20. 松戸市立博物館紀要 第4号 | 松戸市立博物館 |
| 21. 千葉市立加曾利貝塚博物館紀要 第24号 | 千葉市立加曾利貝塚博物館 |
| 22. 東京国立博物館紀要 第32号 | 東京国立博物館 |
| 23. MUSEUM No. 545~550 | 東京国立博物館研究誌 |
| 24. 研究論集 X VI | 東京都埋文センター |
| 25. 研究紀要 第5号 | 栃木県文化振興事業団 |
| 26. 明治博物館研究報告 第2号 | 明治大学博物館事務室 |
| 27. 博物館学紀要 第21輯1995 | 國學院大學博物館研究室 |
| 28. 岐阜県博物館 調査研究報告 第18号 | 岐阜県博物館 |
| 29. 論文 越後国奥山荘の城館(下) | 水澤幸一 |
| 30. 長野県立博物館研究紀要 第3号 | 長野県立歴史館 |
| 31. 研究紀要 Vol. 4 | 富山県立山博物館 |
| 32. 見晴台教室'96 | 名古屋市見晴台考古資料館 |
| 33. リトルワールド研究報告 第13号 | 野外民族博物館リトルワールド |
| 34. (財)京都市埋蔵文化財調査概要 | (財)京都市埋蔵文化財研究所 |
| 35. 紀要 第5号 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 36. 伊勢国分寺・国府跡 4 | 鈴鹿市教育委員会 |
| 37. 研究紀要 第1集 | 広島県立歴史民俗資料館 |
| 38. 研究紀要 第2号 | 愛媛県立歴史文化博物館 |
| 39. 研究紀要 第6号 | 高知県立歴史民俗資料館 |
| 40. 下関市立考古博物館 研究紀要 第1号 | 下関市立考古博物館 |
| 41. 鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報11 | 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 |
| 42. 研究紀要 1996. 3 Vol. 9 | 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 |
| 43. 研究輯録 VII | (財)広島県埋蔵文化財調査センター |
| 44. 江戸東京博物館調査報告 第3~5集 | 江戸東京博物館 |
| 45. 秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第12号 | 秋田県埋蔵文化財センター |

図録類

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. シルクロードとガンダーラ | 松戸市立博物館 |
| 2. 土佐神社の名宝 | 高知県立歴史民俗資料館 |
| 3. 庄内の大地 | 鶴岡市教育委員会 |
| 4. 物と人 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 5. まつるかたち | 大阪府立近つ飛鳥博物館 |
| 6. 西・北津軽の仏たち | 青森県立郷土館 |
| 7. 広重 東海道五拾三次 | 毎日新聞社 |
| 8. 雪旦・雪提 | 東京都江戸東京博物館 |
| 9. 江戸時代の横浜の姿 | 横浜市歴史博物館 |
| 10. 海からの江戸時代 | 横浜市歴史博物館 |
| 11. 縄文たんけん | 福島県立博物館 |

12. サイエンスロマンIZUMO
13. 城柵の時代
14. ネアンデルタール人の復活
15. 館蔵歴史資料展
16. 玉里の遺跡
17. 特別展 石棚と石梁
18. よみがえる縄文ファッション
19. 伊予の蘭学
20. ブナの森への招待状
21. 四万十川
22. 古代のくらしとうつわ 須恵器
23. 大地からのメッセージ
24. 江戸東京の茶の湯四〇〇年 遊びと求道の心
25. おおむかしの南九州 豊かな衣食住
26. よみがえる下関の歴史Ⅰ 吉母浜遺跡
27. 古代の道と旅
28. 大和の高殿
29. 前方後方墳の世界Ⅱ
30. 古墳の科学捜査
31. 長野県にみる世界の文化
32. 城下町の黎明
33. 森田茂
34. ジャパン
35. 加曾利貝塚
36. さきたまに馬がやってきた
37. 模型でみる江戸東京の世界
38. 陸奥国府の時代
39. 明治から現代までの名刀展
40. 動物はにわコレクション
41. 皇女和宮
42. 掘り出された中世の安芸・備後
43. 群馬の遺跡2
44. 纏向の時代 解説書
45. 菅原白龍没後百年 白龍展
46. 発掘速報展 大阪98
47. 長浜-いにしへ巡礼-
48. Jomon Earthenware
49. 絵すごろく展

書籍類

1. かながわ風土記 第239~247号
2. やっ、どおもネ!
3. 町屋のくらし
4. 米沢市史 原始・古代・中世
5. 日本神話の復元と古代国家
6. 続日本神話の復元と古代国家
7. 多賀城市史 1
8. 天童の歴史散歩
9. 続文殊の里・昔むかし

島根県立八雲立つ風土記の丘
 多賀城市埋蔵文化財調査センター
 地底の森ミュージアム
 滋賀県立安土城考古博物館
 玉里村立史料館
 紀伊風土記の丘資料館
 秋田県立博物館
 愛媛県歴史文化博物館
 山形県立博物館
 高知県立歴史民俗資料館
 京都府立丹後郷土資料館
 滋賀県立安土城考古博物館
 江戸東京博物館
 鹿児島県立埋蔵文化財センター
 下関市立考古博物館
 千葉県房総風土記の丘
 桜井市埋蔵文化財センター
 那須風土記の丘資料館
 大阪府立近つ飛鳥博物館
 長野県立歴史館
 滋賀県立安土城考古博物館
 (酒田市美術館)
 長井市古代の丘資料館
 千葉県加曾利貝塚博物館
 埼玉県立さきたま資料館
 江戸東京博物館
 玉里村立史料館
 米沢市上杉博物館
 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
 江戸東京博物館
 広島県立歴史民俗資料館
 群馬県立歴史博物館
 桜井市立埋蔵文化財センター
 長井市教育委員会
 大阪府立近つ飛鳥博物館
 滋賀県立安土城考古博物館
 The National Museum, Kuala Lumpur
 江戸東京博物館

(財)扶桑伝統文化振興財団
 大塚初重先生頌寿記念会編
 (財)文教の杜ながい
 米沢市
 石川 憲保
 石川 憲保
 多賀城市市史編纂委員会
 川崎 利夫
 文殊大学特別講座委員会

11. 日 誌 抄

- 4 / 1. 辞令交付式
4 / 11 山形大学教育学部より資料移管
4 / 19 うきたむ考古の会役員会
4 / 21 館内職員研修
4 / 25 少年少女考古学教室 屋代小学校 6年
4 / 27 テーマ展開展
5 / 3 風土記の丘写生大会 16名参加
5 / 6 少年少女考古学教室 和田小学校 6年
5 / 18 春の遺跡めぐり 米沢市内の古墳巡り 31名参加
6 / 1 公開公演会「古代出羽の都」 講師 佐藤 禎宏氏
6 / 14 土偶づくり教室
6 / 18 町広報文芸欄投稿の集い
6 / 21~22 みる・きく・ふれる遺跡の旅2 (平泉・花巻・江刺藤原の里)
7 / 1 第4期考古学入門講座 開校式、第1回梶尾 洋講師
7 / 16 県議会文教公安委員会視察
7 / 23 考古学入門講座 第2回 手塚 孝講師
8 / 7 夏休み自由研究相談日
8 / 17 夏休み親子遺跡探険
8 / 24 考古学入門講座 第3回 井田 秀和・川崎利夫講師
9 / 7 考古学入門講座 第4回 佐藤 禎宏講師
小湯山石仏散策 (うきたむ考古の会)
9 / 11~12 全国風土記の丘研究協議会総会及び研修会 (安土城考古博物館)
9 / 14 縄文土器作り教室
10 / 1 第6回企画展「縄文の花ひらいて ~一の坂・台の上遺跡展~」開展
10 / 5 考古学入門講座及び閉講式 山口 博之講師
うきたむ考古のいも煮会
10 / 26 特別講演会「縄文文化の魅力」講師小林達雄氏
まほろば縄文まつり 80名参加
11 / 9 秋の遺跡めぐり 高畠町和田地区 13名参加
11 / 27 本館運営協議会
11 / 30 第6回企画展開展
12 / 1~8 館内燻蒸のため休館
2 / 14 編布づくり教室 6名参加
3 / 13 本館運営協議会

12. 利 用 案 内

- ◆ 交通案内 JR高島駅よりタクシーで15分
JR高島駅より自転車で40分
※高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります。
- ◆ 開館時間 4月1日～10月31日／AM9：00～PM4：30
11月1日～3月31日／AM9：30～PM4：30
- ◆ 休館日 月曜日、国民の祝日
(こどもの日と文化の日は、無料で開館します。)
年末年始(12月28日～1月4日まで)
4月29日、5月3～5日は開館しております。
- ◆ 入館料金 一般200円(150円)、児童等100円(70円)
()は、20名以上の団体料金
※毎月第2第4土曜日は、小・中・高校の入館は無料です。
- ◆ 入館料の減免 次ぎの基準により減免(無料入館)します。

1. こどもの日、文化の日その他教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する。
2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、各号の一つに該当する者とする。
 - (1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
 - (2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者

※上記2の入館料の減免を受けようとする方は、入館減免申請書(別記様式)を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。

平成 年 月 日

高畠町教育委員会教育長 殿

申請者 住所

氏名

㊟

【電話 () 】

入館料減免申請書

下記により山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館の入館料を減額（免除）
くださるよう申請します。

記

入館日時	平成 年 月 日 時頃
入館人員	一般 人 児童等 人 計 人
代表者職氏名	職 氏名
入館の目的	
減免を必要とする理由	
備考	

- (注) 1 提出部数 1部
 2 提出先 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
 3 提出期限 入館日の10日前
 4 規格 A4
 5 留意事項 申請者は学校にあっては学校長
 入館人員には付添人数も記入すること

'97 / 年報

平成10年（1998年） 3月31日 印刷

平成10年（1998年） 3月31日 発行

編集発行 〒992-0302

山形県東置賜郡高畠町安久津2117

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

TEL 0238(52)2585

FAX 0238(52)4665

印刷 有限会社 高畠印刷

